

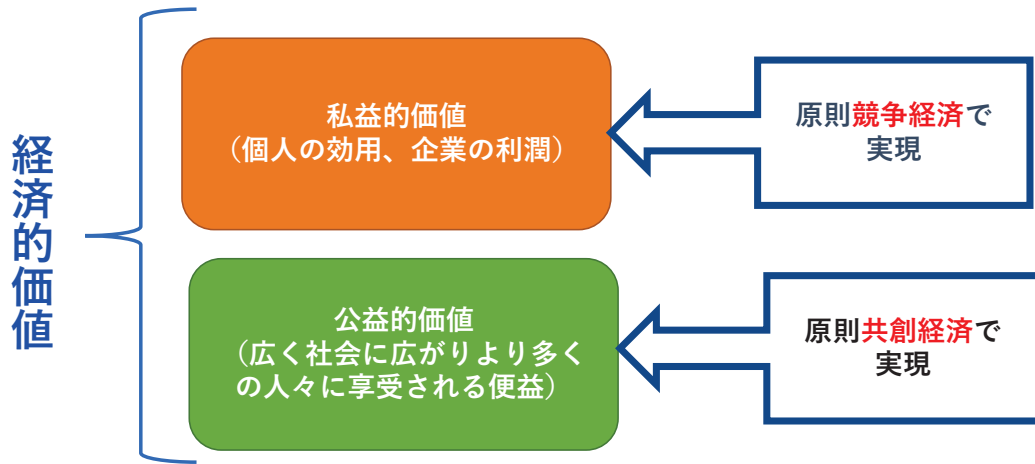
循環経済推進に向けた各主体への期待 ～共創の時代を目指して～

2024年12月23日
3R・資源循環推進フォーラム会長、
リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長
東海大学
細田衛士

来たるべき資本主義の姿

- 私益と公益（社会益）のバランスのとれた経済。
- 人々の自由な発想や創意工夫が活かされる経済。
- 一人勝ち（“Winner-takes-all.”）ではなく、より多くの人々が幸せを享受できる経済。
- つまり、“No one will be left behind.” つまり、誰一人取り残さないような経済。
- 当然、持続可能な経済。

公益と私益

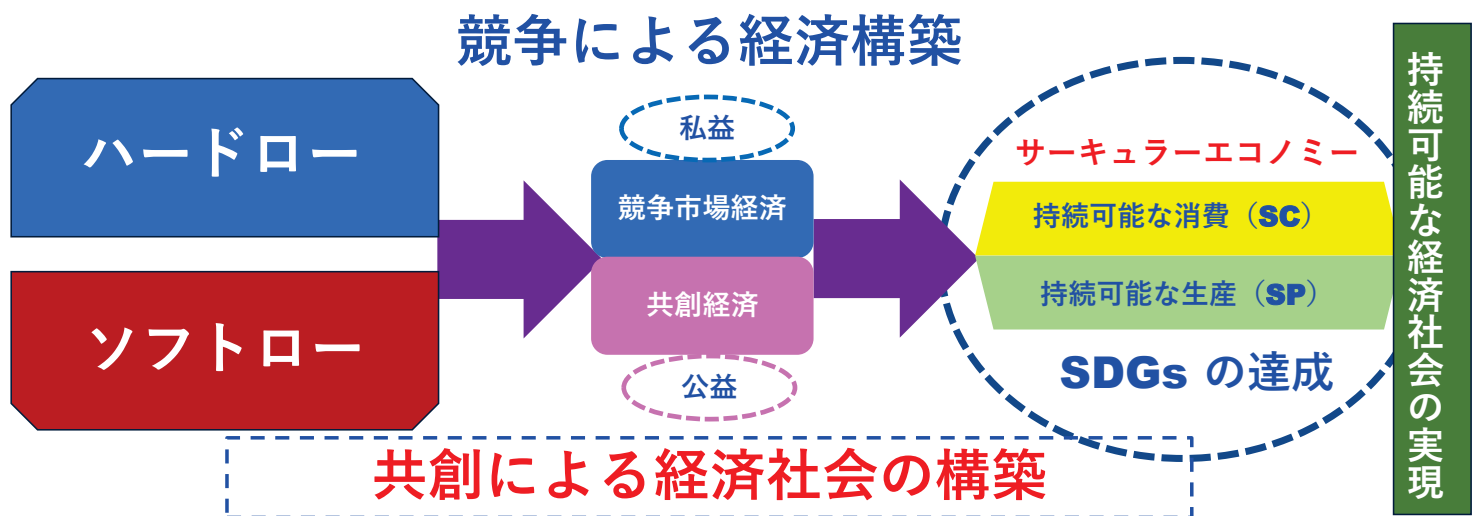


2024/12/23

細田衛士

3

競争と共創の関係



2024/12/23

細田衛士

4

共創とは

- **共創**とは、**様々な主体が連携協力**することによって**新しい付加価値を創造**すること。
- この場合の「**付加価値**」とは、必ずしも競争市場経済で貨幣評価されるとは限らない。
- **心地よさ、快適性、平穩、精神的な充実、智恵と知識の獲得など人間に不可欠な価値**だが、貨幣評価にはなじまないものもある。
- これらの価値は市場競争ではなく**共創によって創出**される。

2024/12/23

細田衛士

5

共創によって実現される3R・資源循環

- **高度な資源の循環利用が実現する経済**、すなわち**循環経済（サーキュラーエコノミー）**は競争も重要だが、**共創**による**ところ**が非常に大きい。
- なぜなら、**資源の高度な循環利用によって得られる便益は広く社会に及ぶ**もので、特定の個人のみが裨益するものではない。
- 資源の高度な循環利用による便益は、**世界の多くの人々に、そして将来世代**にも及ぶ。

2024/12/23

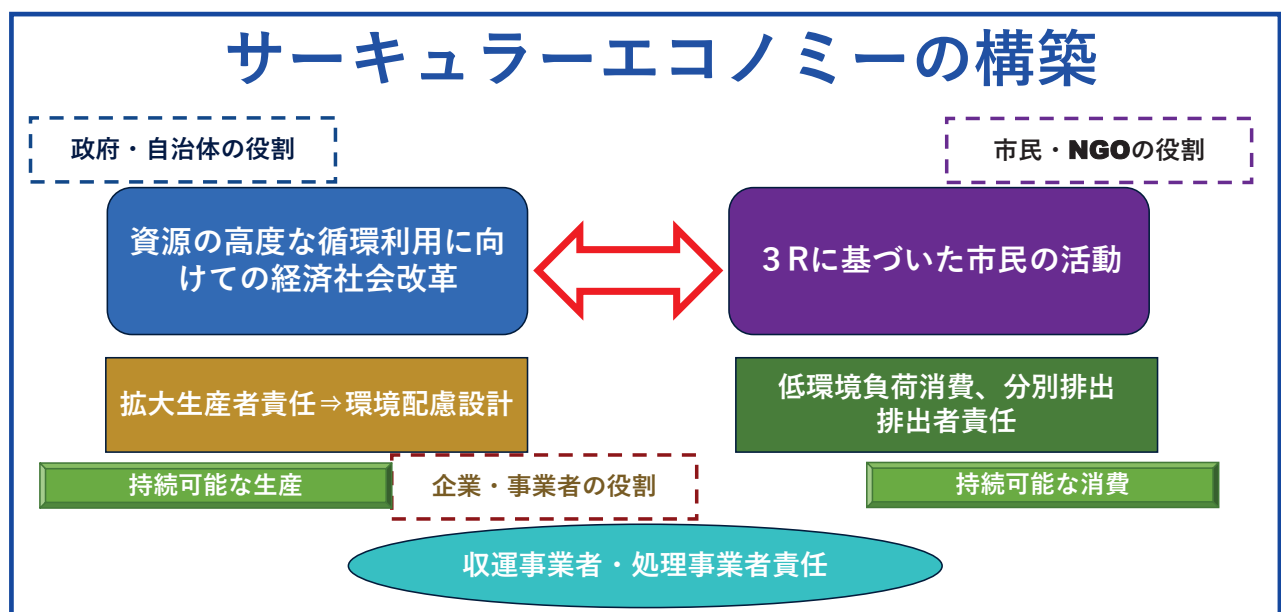
細田衛士

6

もちろん私益の追求も必要

- もちろん**私益の追求**も必要。
- 私益をなくしたら、**創意工夫や技術革新の機会**、人々の**自由な発想**が奪われ、貧しい経済になってしまう。
- しかし**私益の追求のみ**では、**経済の持続性が阻害**され、**経済的格差が拡大**し、極めて住みにくい経済社会になる。
- 私益の追求で不可欠な**創意工夫や技術革新**、そして人々の**自由な発想**は**公益の追求にも活かされるべき**。⇒**共創力が必要**になる。

サーキュラーエコノミーに向けての連携協力の構造



持続可能な生産と消費の同期

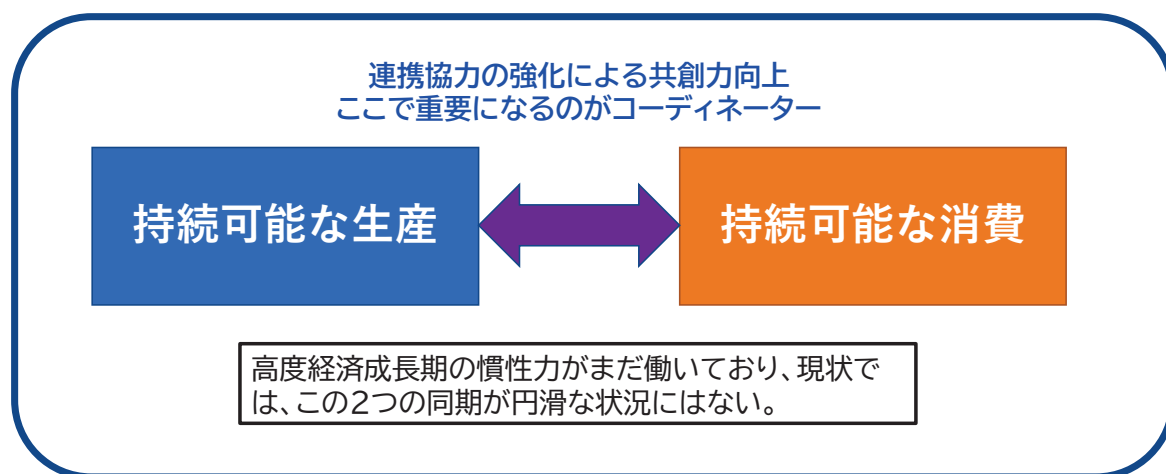
- 徐々に持続可能な生産と消費が実現しつつあるが、まだまだの状態。
- だから、今回のような先進事例発表会を通じて情報を発信・共有し、学び、持続可能な生産と消費に向けて新たな一歩を踏み出さねばならない。
- そして、持続可能な生産と消費が同期しなければならないが、これは市場競争だけでは覚束ない。
- 主体間の連携協力があってはじめて、持続可能な生産と消費が調和・同期し、経済社会の持続可能性を向上させる。

2024/12/23

細田衛士

9

持続可能な生産と消費の同期：図示



2024/12/23

細田衛士

10

いくつかの事例（1）

- 地域行政、NGO、企業の連携協力によって可能になった**ポリスチレン（PS）のリサイクル**。
- 世界ではPSはリサイクル不適物として使用を制限するところもあるが、**江東区では連携協力によってPSリサイクルが実現した。**



2024/12/23

細田衛士

11

いくつかの事例（2）

- 異業種の連携協力による建設現場からの**建設副産物の効率的回収システム**の構築。



巡回回収システム概要図

資料出典：3R推進協議会、令和6年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰資料

2024/12/23

細田衛士

12

いくつかの事例（3）

- ・ 諫早農業高校と離島の対馬市と連携協力のケース。生ゴミを堆肥に変える取り組みを継続。これまでに2255トンの生ゴミを回収し、およそ200トンの堆肥を生産。



資料出典：農林水産省ウェブサイト、<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/recycle/ondanka/mottai/mottai.html>

いくつかの事例（4）

- ・ KOBE PLASTIC NEXT:神戸市のイニシアチブの下、市民、企業、NGOなどの連携協力によって使用済プラスチックの発生回避、リサイクル（水平リサイクル）などが実現。



キーとなるコーディネーター

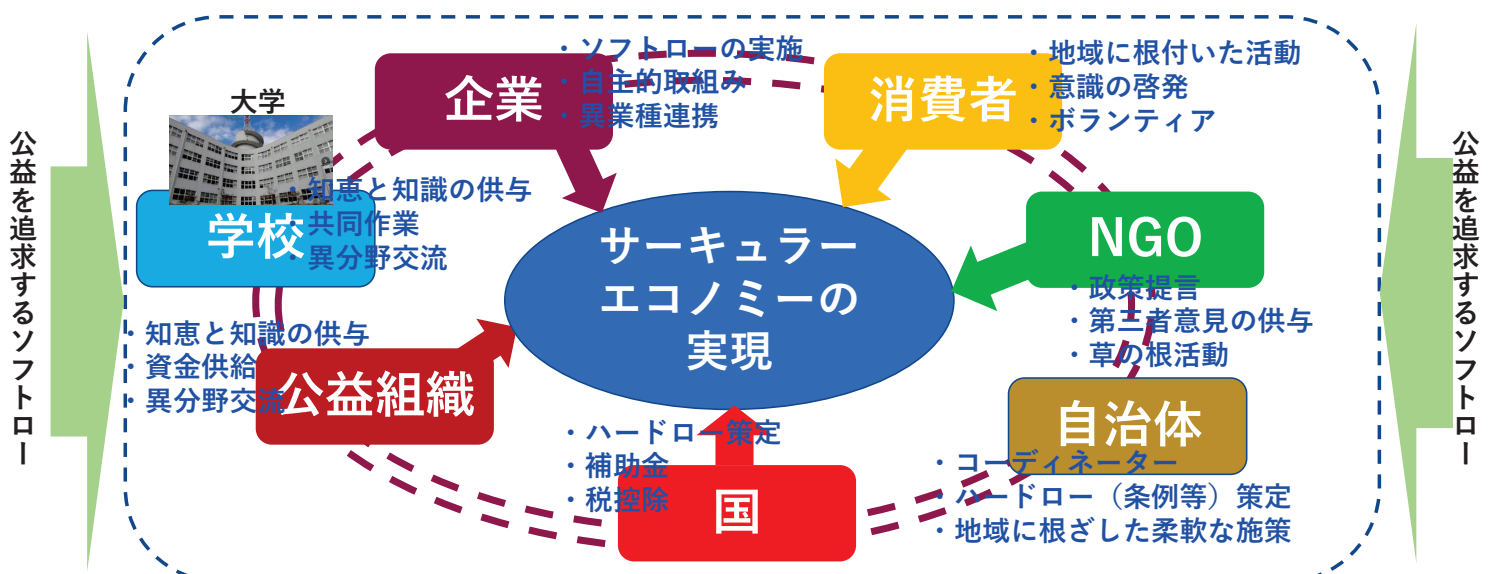
- 連携協力による共創、公益的付加価値の実現には**コーディネーター役が必要**。
- **さまざまな主体がコーディネーター役**になり得る。
- KOBEPLASTI NEXTにおけるように、**自治体が大きな役割**を果たす場合も多い。
- **地域の実情に即した資源の高度な循環利用**を実現するには、**地域のことをよく理解した主体がコーディネーター役**になり得る。

2024/12/23

細田衛士

15

いつも出している図ではあるが…



2024/12/23

細田衛士

16

技術優位からシステム優位への発想の転換

- 循環経済の実現に高度な技術は必要だが、技術優位の発想では循環経済は実現しない。
- まずは使用済製品・部品・素材の発生回避、そしてリユース、リサイクル、熱回収、適正処理・処分を系統的に実現すること（Waste Hierarchy）。
- また効率的な資源循環には、連携協力による使用済製品・部品・素材の効率的な回収システムが不可欠。
- システムがあってこそはじめて、その中で技術も生きてくる。**システム優位の発想に切り替える必要**がある。

おわりに

- これからの資本主義経済は私益一辺倒では駄目で、**私益と公益のバランスをうまく取ることが**不可欠。
- そのためには競争経済も必要だが、**共創力を高め公益的価値を創出する努力**が不可欠。
- 循環経済の実現は公益的価値を向上させるものであり、そのために**共創力を一層高めること**が求められる。
- 特に異業種の連携協力を実現するには、**コーディネーター役**が不可欠。
- 自治体はコーディネーター役の最有力候補。

ご清聴有り難うございました！
子曰、学而不思則罔、思而不学則殆
(論語、為政第二)